

## 例 言

- 1 本書は、奈良市教育委員会の委嘱を受けた奈良国立文化財研究所が、奈良市東九条町419-1で実施した発掘調査の報告である。調査は奈良市に交付された国庫補助金によった。調査期間は1982年10月4日～27日、調査面積は約180㎡である。
- 2 調査は、当研究所平城宮跡発掘調査部が担当し、金子裕之、立木 修、岩永省三、宮本長二郎、内田昭人、清田善樹が参加し、中川善夫、田阪 仁（三重県教育委員会）が補助した。遺構・遺物の写真は八幡扶桑、佃 幹雄が担当した。
- 3 本書の作成は、岡田英男の指導のもとに、以下の者が当り、執筆者全員の討議を経た。  
I 鬼頭清明、II-1・2、III-3、IV-4 金子裕之、III-1 立木 修、III-2 巽淳一郎、III-4 松村恵司、III-5、IV-2 岩永省三、III-6 清田善樹、III-7 松井 章、IV-1 宮本長二郎、IV-3 内田昭人、III-7のうち人骨の鑑定と所見の執筆は関西医科大学医学部葉山杉夫氏による。また火山灰の鑑定は大阪市立大学理学部辻誠一郎氏を患わせた。樹種鑑定は光谷拓実が行った。  
本書の編集は金子裕之が担当した。
- 4 本書の作成に当り、奈良県立橿原考古学研究所より稗田遺跡の遺構写真の提供をいただいた。またfig. 3記載の字名は、同研究所発行『大和国条里復原図』から引用した。